

2026年10月19日

日本ゼオン、川崎イノベーションフロンティアポートにおいて多品種研究試作施設の建設に着手 研究開発～量産のスケールアップ加速を目指す

日本ゼオン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO：豊嶋 哲也 以下、ゼオン）は、川崎イノベーションフロンティアポート（神奈川県川崎市、事業所長：赤坂 昌男）において、10月16日に安全祈願祭を挙行し、多品種研究試作施設の建設に着手しました。本施設は、既存・新規事業を問わず研究開発～量産のスケールアップ加速を目指して建設されるものであり、ゼオンの持続的な成長に貢献する重要な施設と位置付けています。

なお本施設は、川崎イノベーションフロンティアポート内の総合開発センターエリアに位置する既存建屋内に整備し、2028年1月の稼働開始を目指します。



神事の様子

本施設は、ゼオンの高付加価値品を生み出す要の技術である重合、水添、凝固、乾燥などの工程を取り込むと共に、幅広い製造条件やさまざまな運転方法にマルチ対応可能な設計としています。これにより、ラボ～中量サンプル作製のスピードアップが図られ、量産化の早期実現に貢献します。

ゼオンでは、本施設を既存・新規事業を問わずに活用するだけでなく、ポリマーデザインカンパニーとして新技術開発の展開拠点に位置づけ、新プロセス、オペレーション技術、分析技術、計測技術などの社内外への展開への足掛かりとします。また将来的には、社外からの試作受託などあらゆる技術の展開を可能にします。

川崎イノベーションフロンティアポートは、隣接する川崎工場と総合開発センターを包含する事業所全体の名称であり、「イノベーションと研究開発・生産の融合により新しい価値を開拓する」、「ポートは川崎臨海地区のイメージ（港、空港）であり、ここから発進する」という意味が込められています。本年12月に運用開始する共創イノベーション施設*と併せ、今後もさらに高付加価値な製品とその先進的な生産技術の開発を両者で担い、シームレスに連携していくことで、“技術発信拠点”としての機能を一層強化していきます。

*日本ゼオン、川崎市拠点内に新たな共創イノベーション施設の建設を決定（2024年4月プレスリリース）

<https://www.zeon.co.jp/news/assets/pdf/240423.pdf>

以上

本件に関するお問い合わせ先

日本ゼオン株式会社 経営企画統括部門 広報部 電話：03-3216-2747

お問い合わせフォームは[こちら](#)